



「いかしつ守る環境活動者のグローバルな架け橋」

(持続的な人間活動と環境保全活動にかかわる人々の共通の理解と連帯の形成)

この領域は、人々の生活と環境保全活動のバランスを考えることを目的としています。
(2011年6月までの領域)

ごみの島から「人のつながり」の島へ再生

<研究・活動名> 離島におけるバイオマス資源活用システムに関する研究

<代表者 / 団体> 早稲田大学大学院環境・エネルギー研究科助教 切川卓也 / 豊島再生「食プロジェクト」推進協議会

戦後最大級の廃棄物不法投棄事件が発生した瀬戸内海の“豊島(てしま)”をモデルとして自然環境と地域再生、とりわけ地域資源の活用システムの構築に焦点を当てた研究・活動を展開しました。本プロジェクトは総務省の緑の分権改革推進事業モデル地区に採択され、発展的にプロジェクトを終了しました。(2009年1月より半年に1回の審査を受け、2011年6月に終了)

大学と地域と農のネットワーク

<研究・活動名> 本庄里山キャンパスにおける生物多様性市民モニタリング手法の構築

<代表者 / 団体> 早稲田大学大学院環境・エネルギー研究科教授 紙屋雄史 / NPO 法人早稲田環境市民ネットワーク

地域の里山や農業の課題に大学と市民が共同で取り組むことで、新しい地域との関係創造につながる社会モデルを構築するために、埼玉県本庄市の早稲田大学キャンパス周辺で生物多様性市民モニタリング手法の構築に取り組み、今後につながる様々な成果を得てプロジェクトを終了しました。(2009年1月より半年に1回の審査を受け、2011年6月に終了)

天然ゴムの持続的生産に関する研究・活動

<研究・活動名> 中国における天然ゴムの持続的生産に関する研究・活動

<代表者 / 団体> 富山県立大学工学部教授 佐藤幸生 / 雲南省昆明植物園

中国における天然ゴムの持続的生産に関して、生物多様性および環境経営・政策的視点からの予備的研究を行いました。これらの成果は今後W-BRIDGE プロジェクト全体の活動に引き継がれる予定です。(2011年1月より半年間活動を実施し終了)



写真 上段：(切川プロジェクト)
 豊島の風景と(左から順に)地元海産物、
 温室、豊島共創グリーンマップ
 下段：(紙屋プロジェクト)
 芋植え生物観察(上)
 落ち葉堆肥つくり(中)
 原木シイタケ菌コマ打ち込み作業(下)



企業や生活者がともに自然と 共生していく方法を考える

「企業 CSR と地域交流」(p17)

「『荒廃地』における森の再生」(p5)

「農と食と緑の学校」(p13)

環境保全の知見や手法を世界にひろげ、 次世代とともに学ぶ方法を考える

「じよんのびプロジェクト」(p17)

「日本とマレーシアの国際交流による環境意識の育成」(p5)

新規プロジェクト

「大震災を考えるプロジェクト」(p7)

「島の歴史、文化と環境学習の融合」(p7)

2050年の視点からCO₂を減らす方法を、生活者とともに考える

新規プロジェクト

「東北復興を契機に日本を持続可能な社会へ」(p7)

「被災地再生可能エネルギー」(p7)

「学生と地域がともに取り組む環境ビジネスの創出」(p7)

終了プロジェクト

「持続可能な国内森林利用の方向性」(p5)

「ごみの島から『人のつながりの島』へ再生」(p9)

「大学と地域と農のネットワーク」(p9)

「天然ゴムの持続的生産に関する研究・活動」(p9)

「全国学生環境ビジネスコンテスト」(p13)

「熟議とファシリテーション」(p15)

「サステナブル都市新宿」(p17)

「環境日本学の世界への発信」(p19)

「文明と環境に関する知の対話」(p19)

W-BRIDGE プロジェクトマップ

資源を大切に使い循環させる仕組みを、生活者とともに考える

「いばらきエコ・ネットワーク」(p13)

「トキの生育環境保全」(p15)

「女性生活者による3R活動による地域貢献」(p18)

「やんばるの森」(p15)

新規プロジェクト

「利用者視点から見た2R (Reduce, Reuse) の普及促進」(p7)



(第2領域 つづき)

地域で取り組むいばらきエコ・ネットワーク

＜研究・活動名＞地域連携で生み出すいばらきエコ・ネットワーク STEP2

＜代表者 / 団体＞茨城大学地球変動適応科学研究機関 (ICAS) 准教授 田村誠 / 城里町商工会・筑西市商工会エコの木プロジェクト部会

茨城県城里町商工会と筑西市商工会が地域取り組みの実施主体となり、茨城大学はそれらと人と技術でつなぎ、「生活者」が生き生きと展開させる「コミュニティ」とその有効性の科学的検証が進められています。2011年3月の東日本大震災で特に城里町が大きな被害を受けましたが、若干の計画変更で乗り切り、被災地の復興にこれらの経験を活かす動きが出るなど、大きな注目を浴びるプロジェクトとなっています。(2009年1月より半年に1回の審査を受け、現在は新しい領域で継続中 (7ページ参照))

農林業体験を通じて若者へ食と環境の問題を提起する

＜研究・活動名＞農林業体験を通じた若者への環境問題提起 ～食行動変容からの検証～

＜代表者 / 団体＞早稲田大学平山郁夫記念ボランティアセンター助教 秋吉恵 / WAVOC「農と食と緑の学校 in おけら牧場・ラーバンの森」

今後の社会を担う学生には、実際に農山村に行き、日本の農業や食、雑木林の役割や環境問題を現場から考えることが求められる側面があるといつてよいでしょう。また、学生の食生活を変える食行動の変容と現場の体験との相関関係も解明すべき課題です。最初は少人数でスタートした本研究・活動も、今は大所帯となり今後の進展が期待されています。(2009年7月より半年に1回の審査を受け、現在は新しい領域で継続中 (7ページ参照))

学生が未来のエコビジネスを開く

＜研究・活動名＞全国学生環境ビジネスコンテスト em factory

＜代表者 / 団体＞早稲田大学大学院環境・エネルギー研究科教授 西尾哲茂 / 早稲田大学環境NPO 環境ロドリゲス em factory

環境配慮型のビジネスモデルの構築や、環境とビジネスのバランス感覚を持った学生人材を輩出することを目指し、全国学生環境ビジネスコンテスト em factory の開催や学生と企業との環境問題を通じたインタラクティブプロジェクトの推進を行っています。ビジネスコンテストの成果が実際ビジネス化されるなど着実に成果が上がっています。(2009年1月より半年に1回の審査を受け、2011年6月に終了。現在、発展プロジェクトを新しい領域で実施中 (7ページ参照))



写真 (田村プロジェクト)
 ソーラーパネル、コントローラー、バッテリーを
 設置したアルミ折りたたみ式リヤカー (右)
 非常用電源として電動バイクを充電中 (左)



写真 (秋吉プロジェクト)
 石窯作り (左上)
 鶏の解体の手順説明 (右)
 参加者が作った料理 (左下)



写真 (西尾プロジェクト)
 全国学生環境ビジネスコンテスト

(第2領域 つづき)

貴重な鳥の生育環境保全ネットワーク その1 (沖縄やんばるの森)

＜研究・活動名＞やんばる国頭の森の持続可能な森林資源管理に関する研究

＜代表者 / 団体＞東京工業大学大学院社会理工学研究科・価値システム専攻教授 桑子敏雄 / NPO 法人国頭ツーリズム協会

貴重な鳥「ヤンバルクイナ」の生育地としても知られる沖縄本島北方の国頭村において、地域経済と生態系の保全をどう両立させるかという観点から、森林利用のゾーニング手法の研究や資源を生かした生業づくりの活動を進めており、他地域での応用可能なモデルづくりを続けています。(2010年7月より半年に1回の審査を受け、現在は新しい領域で継続中(7ページ参照))

貴重な鳥の生育環境保全ネットワーク その2 (佐渡島、トキ)

＜研究・活動名＞新潟県佐渡市トキ舞う加茂湖の水辺再生プロジェクト

＜代表者 / 団体＞九州大学大学院工学研究院環境都市部門教授 島谷幸宏 / 佐渡島加茂湖水系再生研究所

貴重な鳥「トキ」の生育地としても知られる新潟県佐渡島加茂湖周辺において、地域住民と研究者が一体となった合意形成、環境学習、小中学生も含めた水辺再生プラン作り、市民工事手法の導入による再生の一步を実現しました。今後、他地区においても導入される可能性のある新たなコンセプトが作られつつあります。(2010年7月より半年に1回の審査を受け、現在は新しい領域で継続中(7ページ参照))

熟議とファシリテーション

＜研究・活動名＞環境問題解決のための「場」作り実践の分析 - 「熟議」と「ファシリテーション」

＜代表者 / 団体＞早稲田大学大学院環境・エネルギー研究科教授 友成真一 / re:connect

環境問題解決のための「場」作り実践を目的として、W-BRIDGEの学生プロジェクトから派生した新規プロジェクトです。熟議とファシリテーションの実践と理論化を目指した方向性は、2011年3月の東日本大震災後ますます重要なものとなりつつあります。これらの成果は今後W-BRIDGEプロジェクト全体の活動に引き継がれる予定です。(2010年7月より半年に1回の審査を受け、2011年6月に終了)



写真 上段：(桑子プロジェクト)
森林の自然資源調査 (左)

(友成プロジェクト)
リコネクトワークショップ (右)

下段：(鳥谷プロジェクト)
水辺再生作業 (中)
作業実施前の風景 (左上)
作業実施後の風景 (右下)

